

富山湾で見られたササノツユ属の1種  
*Diacavolinia* sp. (軟体動物門, 腹足綱) の記録

小木曾正造・木谷洋一郎

金沢大学環日本海域環境研究センター臨海実験施設, 石川県鳳珠郡能登町字小木ム 4-1  
(〒927-0553)

Report of *Diacavolinia* sp. (Mollusca, Gastropoda) observed in Toyama Bay, Sea of Japan

Shouzo OGISO and Yoichiro KITANI

Noto Marine Laboratory, Institute of Nature and Environmental Technology, Kanazawa University, 4-1, Ogi, Noto, Ishikawa Pref., 927-0553, Japan

Abstract

Nine live pteropods were captured off the coast of Noto Town, Ishikawa Prefecture, in the Sea of Japan (37°16'56.76"N 137°15'19.80"E) on September 16, 2025. After laboratory observation, they were identified as *Diacavolinia* sp. and preserved as specimens.

はじめに

軟体動物門腹足綱真後鰓目有殻翼足亜目カメガイ科カメガイ亜科ササノツユ属のササノツユ *Diacavolinia longirostris* (de Blainville, 1821) は日本近海では黒潮の影響を受ける太平洋側では普通とされ、死殻は瀬戸内海では香川県沿岸、日本海では鳥取県沿岸や福井県沿岸でも確認されている(福岡ら, 2008; 奥谷, 2015, 2017a; 竹林・和田, 2010)。一方、粗分類法では全世界に分布するササノツユは1種のみとされていたが、近年の研究によって24の分類群(20種と2種の各2 forms)に分けられている(奥谷, 2017a; SPOEL et al., 1993)。このうち日本近海ではササノツユ *D. pacifica* (van der SPOEL, 1993)、クビレササノツユ *D. vanutrechtii* (van der SPOEL, 1993)、マルセササノツユ *D. angulosa* (GRAY, 1850) の3種が出現することが報告されている(小林・寺崎, 1995)。著者らは2025年9月16日に石川県鳳珠郡能登町沖にて釣りによる生物採集を行っていた際に生きたササノツユ属の1種を採捕したため標本とし報告する。

材料と方法

2025年9月16日5時45分に石川県鳳珠郡能登町にある金沢大学環日本海域環境研究センター臨海実験施設の調査実習船「あおさぎ」にて九

十九湾から出港し、釣りによる生物採集を実施した。6時30分頃に、水面に不自然な小さな波紋が多数あることに気が付き、ロープを取り付けた10Lプラスチックバケツを船上より海へ投げ入れて海水ごと掬ったところ、1個体の翼足類が入って

いた。この作業を繰り返して計 9 個体を採集し、チャック付きポリ袋に入れて写真と動画を撮影した後(図 1)、15 ml 遠沈管に入れて氷冷して保管した。釣り採集終了後の 9 時 50 分頃に実験室で翼足類をバットに移したところ、全ての個体が死亡していた。写真撮影した後(図 2)、6 個体を 99% エタノールにて固定した(NML-02091)。3 個体はバット内でそのまま 1 週間静置して殻を取り出し乾燥標本とした(NML-02092)。殻乾燥標本は実体顕微鏡(オリンパス社製 SZX16)とカメラ(オリンパス社製 DP73)を用いて観察して撮影し、画像上で大きさを測定した(図 3)。標本は金沢大学環日本海域環境研究センター臨海実験施設の登録標本とした。殻および生時の形態からササノツユ属の 1 種 *Diacavolinia* sp. と同定された。

#### 観察標本

ササノツユ属の 1 種 *Diacavolinia* sp.: NML-02091、6 個体、液浸標本、2025 年 9 月 16 日 6 時 30 分、石川県鳳珠郡能登町沖(37°16'56.76"N 137°15'19.80"E)、水深約 0.05 m、船上よりバケツで小木曾正造と木谷洋一郎が採集; NML-02092、3 個体、殻乾燥標本、2025 年 9 月 16 日 6 時 30 分、石川県鳳珠郡能登町沖(37°16'56.76"N 137°15'19.80"E)、水深約 0.05 m、船上よりバケツで小木曾正造と木谷洋一郎が採集。

#### 結果と考察

##### 形態的特徴

生時、体は半透明で殻が透けて見え、側部突起は広く大きくて淡い紫色を呈した。肉眼では遊泳時に付属糸は見られず、固定後の顕鏡でも確認できなかった。殻乾燥標本 3 個体(NML-02092)の計測値は殻長 5.0–5.8 mm、殻幅 3.3–3.5 mm、殻高 2.2–2.7 mm であった。殻は琥珀色から薄い茶色で腹殻の一部は濃い茶色を呈し、背殻のひさしは半透明。腹殻は丸く膨らみ、ventral ribs は明瞭(SPOEL et al., 1993)。背殻前方のひさしは嘴状に伸び、明瞭なくびれは見られない。背殻後方は、中央に突

起は見られず、左右の突起は背面上方に張り出しており側方には強く張り出さない。背殻の形状からカメガイ亜科の他属から区別された(奥谷, 2015, 2017b)。背殻のひさしにくびれが見られないことからマルセササノツユ *D. angulosa* から区別されるが、種の同定には至らなかった(奥谷, 2017a; SPOEL et al., 1993)。

#### 備考

採集時は無風に近い穏やかな天候でよい風だったため、水面に風波が見られず、本種が水面に起こす小さな波紋を目視で認識することができた。海中では側部突起を活発に動かして遊泳していたが、バケツに掬うと側部突起を閉じて丸く縮こまり、バケツの底へ沈む行動が見られた。しばらく静置すると再び遊泳を始めたが、遠沈管に収容後も同様の行動が確認された。

能登町沿岸では 2018 年 7 月 24 日にカメガイ亜科のクリイロカメガイ *Cavolinia uncinata* (RANG, 1829)が大量漂着した記録がある(小木曾ら, 2019)。今回見つかったササノツユ属の 1 種は、沿岸から約 2.7 km 離れた地点で確認され、見られた個体数はそれほど多くはなく、沿岸への漂着も確認できなかった。

#### 謝辞

金沢大学環日本海域環境研究センター臨海実験施設の鈴木信雄教授には本研究の機会を与えて頂いた。この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

#### 引用文献

- 福岡修・石田惣・中川登美雄, 2008. 福井県沿岸に見られる打ち上げ貝. 福井市自然史博物館研究報告, 55: 123–138.
- 小林晴美・寺崎誠, 1995. 日本近海に出現するササノツユ類 3 種. ちりぼたん, 25(4): 92–96.
- 小木曾正造・池森貴彦・東出幸真・浦田慎, 2019.

石川県鳳珠郡能登町沿岸で見られたクリイロカメガイ *Cavolinia uncinata* の大量漂着. のと海洋ふれあいセンター研究報告, 24: 19-23.

奥谷喬司, 2015. 軟体動物門腹足綱真後總目有殻翼足亜目. pp. 342-344 in 峯水亮・久保田信・平野弥生・ドゥーグル リンズィー(著), 日本クラゲ大図鑑. 平凡社, 東京.

奥谷喬司, 2017a. わが国近海に見られる浮遊性巻貝類-V 有殻翼足類・カメガイ亜科. うみうし通信, 92: 4-5. [http://www.rimi.or.jp/wp-content/uploads/2017/08/92-02\\_Okutani\\_V\\_rev.pdf](http://www.rimi.or.jp/wp-content/uploads/2017/08/92-02_Okutani_V_rev.pdf) (参照 5 October 2025)

奥谷喬司, 2017b. カメガイ科. pp. 1097-1098 in 奥

谷喬司(編著), 日本近海産貝類図鑑 第二版. 東海大学出版部, 神奈川.

瀬尾友樹, 2014. 2009~2013 年における香川県沿岸の海産貝類相について. 近畿大学農学部紀要, 47: 87-124.

SPOEL, S. van der, BLEEKE, J., KOBAYASI, H., 1993. From *Cavolinia longirostris* to twenty-four *Diacavolinia* taxa, with a phylogenetic discussion (Mollusca, Gastropoda). *Bijdragen tot de Dierkunde*, 62(3): 127-166.

竹林慶謹・和田年史, 2010. 鳥取県東部の砂浜海岸の打ち上げ貝類と Web 図鑑の作成. 鳥取県立博物館研究報告, 47: 7-25.

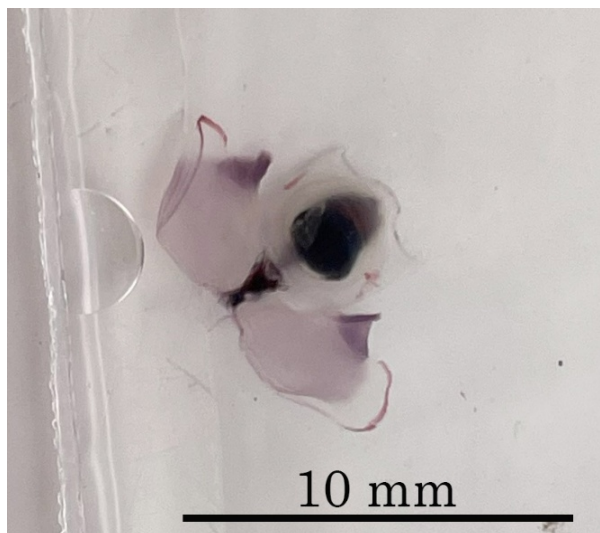


図1 ポリ袋内で遊泳する生時の写真

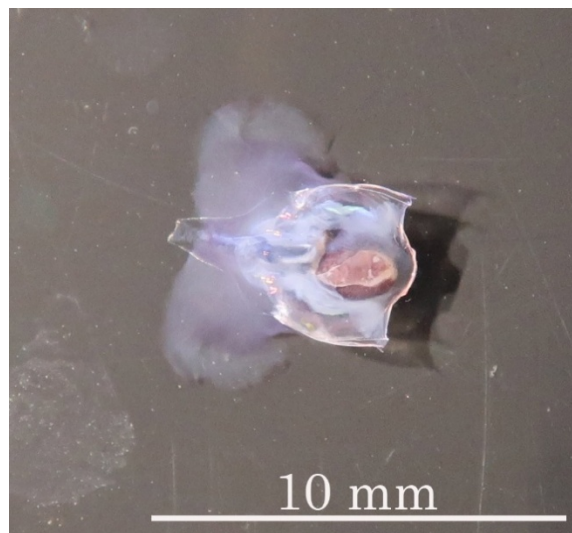


図2 斃死後の写真(固定前)



図3 殻の乾燥標本(左から腹面観、背面観、右側面観)

